

株式会社アイセック・ジャパン 成果発表

2016/10

株式会社 アイセック・ジャパン
代表取締役 一瀬 宗也

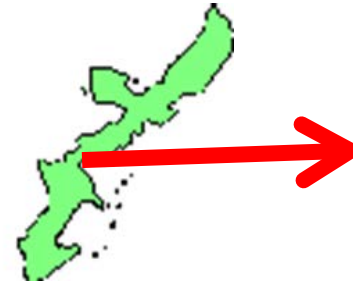
目次

1. 株式会社アイセック・ジャパン 会社概要
2. 「モバイル型情報保障サービス(e-ミミ)」の背景
3. 「モバイル型情報保障サービス(e-ミミ)」とは
4. 「e-ミミ」サービスの展開エリア
5. 活用事例
 1. 高校生の授業支援
 2. 議会での事例
 3. 国際会議での事例
6. 今後の展開

1. 株式会社アイセック・ジャパン 会社概要



会社名	株式会社アイセック・ジャパン
所在地(本社)	沖縄県うるま市川崎468番地 いちゅい具志川じんぶん館1F
設立	2008年9月1日
資本金	3,990万円
代表者	一瀬 宗也(いちせ むねや)
主要事業	モバイル型情報保障サービス(e-ミミ) 電話リレーサービス インターネット販売
連絡先	電話:098-972-6888 FAX:098-987-5627 E-mail:iscec-j@iscecj.co.jp



(本社)

会社名	株式会社アイセック・福井
所在地(本社)	福井県三方上中郡若狭町井ノ口36-3-3
設立	2016年2月18日
資本金	600万円
代表者	一瀬 宗也(いちせ むねや)
主要事業	モバイル型情報保障サービス(e-ミミ) 電話リレーサービス
連絡先	電話:0770-62-1720 FAX:0770-62-1723 E-mail:iscec-f@iscecj.co.jp



(アイセック・福井)

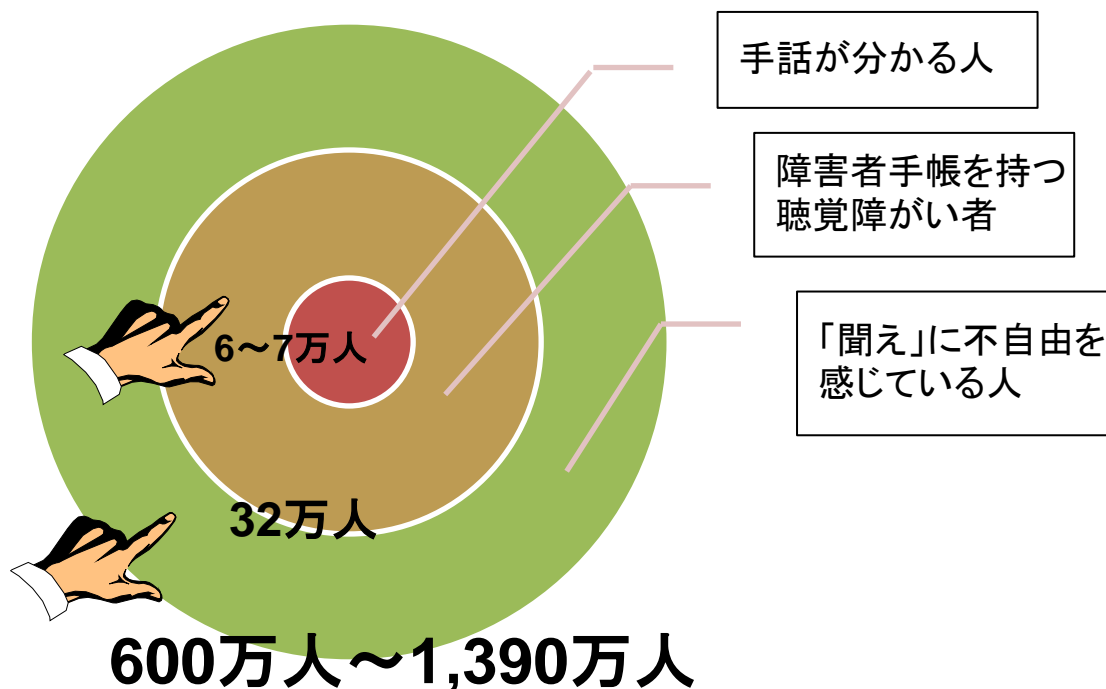
2. 「モバイル型情報保障サービス(e-ミミ)」の背景

聞こえに問題をお持ちの方は増え続けています

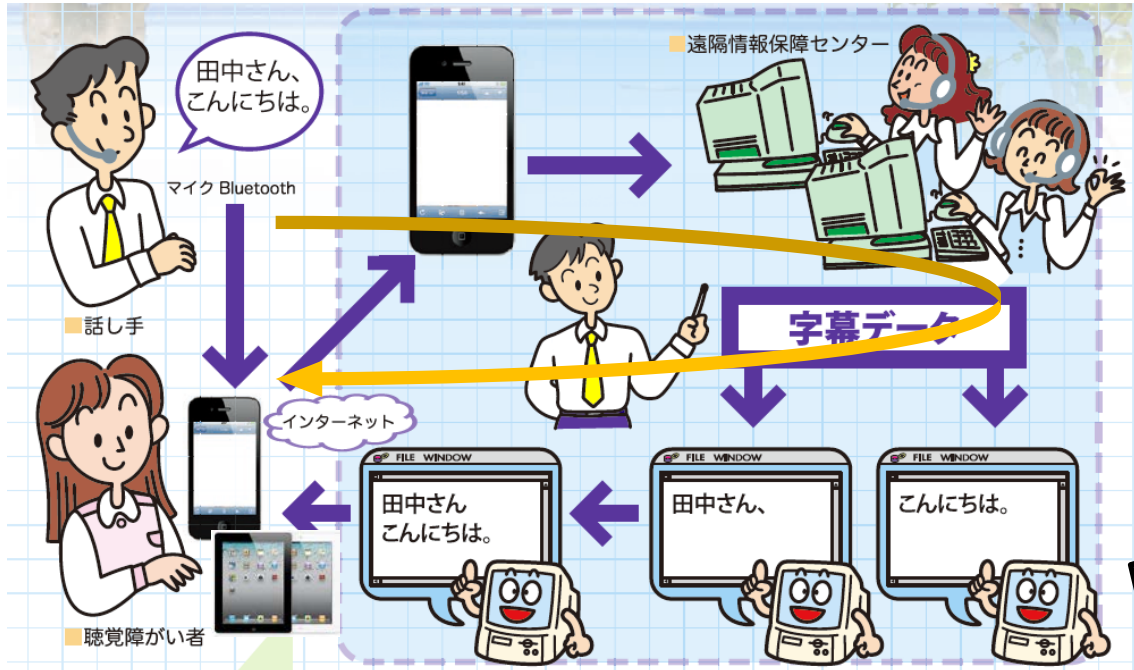
聴覚に障がいがある身体障がい者手帳を交付されているのは約32.4万人です。
そのうち手話が分かるのは約14%の6~7万人程度です。

高齢化社会に伴い、障がい者手帳をもっていなくても聞こえに不自由を感じている方は600万人以上いると言われている。

日本補聴器工業会の2012年調査では、1,390万人いると言われています。

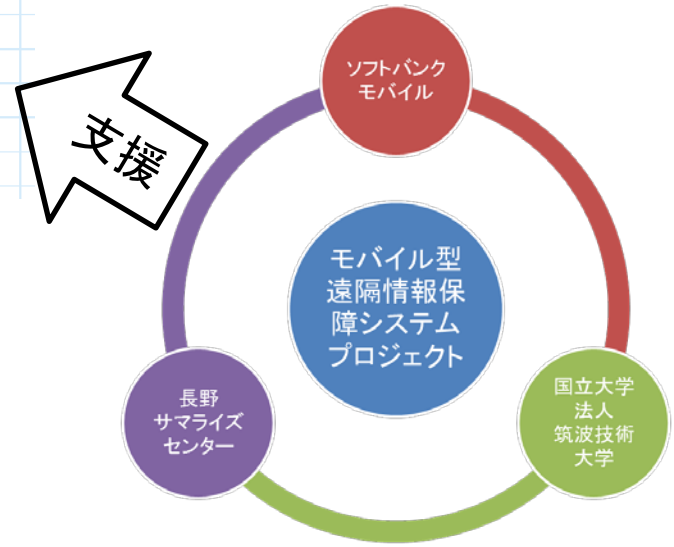


3. 「モバイル型情報保障サービス(e-ミミ)」とは



通常2人1組x2で入力
10分で次の組と交代

2009年から2010年にかけて、
国立大学法人筑波技術大学
を中心としたプロジェクトで実
証実験をした仕組み
2011年にプロジェクトに参加



- <特長>
1. 機材が手軽: スマホもしくはスマホとタブレットさえあれば、開始できる
 2. 正確で早い: センター(うるま市)の文字通訳者による入力
 3. 遠隔化: 通信さえ届けば、日本各地・世界各地にサービス提供できる
 4. 要約筆記ではなく、基本的に全文入力の文字通訳



4. 「e-ミミ」サービスの展開エリア

＜講演会・セミナー＞



実績多数

＜議会＞



- ・佐賀県武雄市
- ・沖縄県南城市
- ・大田区
- ・沖縄県

＜学校(授業)＞



- ・都立大森高校
- ・小平高校
- ・名桜大学
- ・筑波技術大学
- ・琉球大学
- ・沖縄国際大学
- ・神奈川工大
等で実施中

＜ラジオ放送＞

見えるラジオ



・ミキオpost
on Radio

＜結婚式＞



＜観光＞



バスツアー

OKINAWA型産業
応援ファンド事業



美術館・博物館ガイド



屋外ツアー



「e-ミミ」センター

＜カウンター業務＞



- ・サンエー
- ・うるま市
- ・琉球銀行
等



アイセック
ISEC JAPAN
ジャパン

5-1. 高校生の授業支援



南風原高校 H24~2年間 2年次から
成績 全校13位→3位
大学進学決定

コザ高校 H25年~1年間 3年次から
大学進学決定

都立大森高校 H25年~3年間 1年次から
H26年~3年間 1年次から

日体荏原高校 H25年~3年間 1年次から
筑波大学附属坂戸高校 H26年~1年間

中部農林高校 H26年~半年間
都立足立高校 H27年~ 1年次から
都立小平高校 H28nennから

大学での利用
筑波技術大学 H25年~
名桜大学 H26年~
神奈川工科大学 H27年~
文教大学 H27年~

見える授業編(ビデオ)



5-2. 議会での事例

IT（情報技術）関連ベンチャー企業のアイセック・ジャパン（沖縄県うるま市、一瀬宗也社長）は27日、地方議会の議事内容を字幕化し、インターネット中継するサービスを始めると発表した。

地方議会の議事

字幕付けネット中継 アイセック・ジャパン

IT（情報技術）関連ベンチャー企業のアイセック・ジャパン（沖縄県うるま市、一瀬宗也社長）は27日、地方議会の議事内容を字幕化し、インターネット中継するサービスを始めると発表した。

まず佐賀・武雄市向け
まず佐賀県武雄市議会を6月3日から中継。聴覚障害者の地方政治への参加促進や、字幕情報を議事録作成に活用できる利点などを売り込み、受注拡大を目指す。
第1弾として、佐賀県武雄市議会から業務を受託した。同市議会と社を電話回線などで結び、議事音声と同社担当者が数人で交互に文字情報を入力する。字幕情報は2～5秒後にネット配信。音声認識技術を使わず、人手で入力するため精度も高いという。
字幕はネット中継のた

め、体の不自由な高齢者が自宅などで閲覧することも可能。字幕情報は随時保存し、議事録の作成にも活用する。
料金は議事録の作成を含め、議事1時間当たり4万～5万円程度。同社は今年度に2～3件、来年度には10件程度の受注を目指す。

佐賀県武雄市
開かれた議会
聴覚障がい者の公聴権

議会の議事録の早期完成
3ヶ月から→速報版は当日

本番試行
沖縄県南城市議会
大田区議会
沖縄県議会



5-3. リオ五輪字幕配信(ボランティア)

8月5日～22日リオデジャネイロで開催されたオリンピックのテレビに合わせた字幕配信をボランティアで行いました。
字幕表示の速さや情報量の多さで評価をいただきました。

